

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

※北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究で実施

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

4月13日に祝津ホタテ養殖漁場の「かみ」、「なか」、「しも」、の3カ所で、表層から水深30mまで3層にわけて浮遊幼生調査を行いました。調査の結果、ザラボヤの浮遊幼生は確認されませんでした（表1）。

表1：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温 【℃】	クロロフィル 【 $\mu\text{g/L}$ 】	ザラボヤ		ユウレイボヤ		その他のホヤ		ヒトデ		フジツボ	
				個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ
かみ	0~10m	7.8~8.0	2.2~4.8										
	10~20m	7.8~7.9	1.6~3.4										
	20~30m	7.6~7.8	1.5~3.0										
なか	0~10m	7.3~8.0	0.9~2.2										
	10~20m	7.8~8.0	0.7~1.7										
	20~30m	7.6~7.8	0.6~3.5										
しも	0~10m	7.6~8.0	0.8~2.0										
	10~20m	7.8~8.0	2.0~3.8										
	20~30m	7.6~7.8	2.2~6.4										

【参考資料】

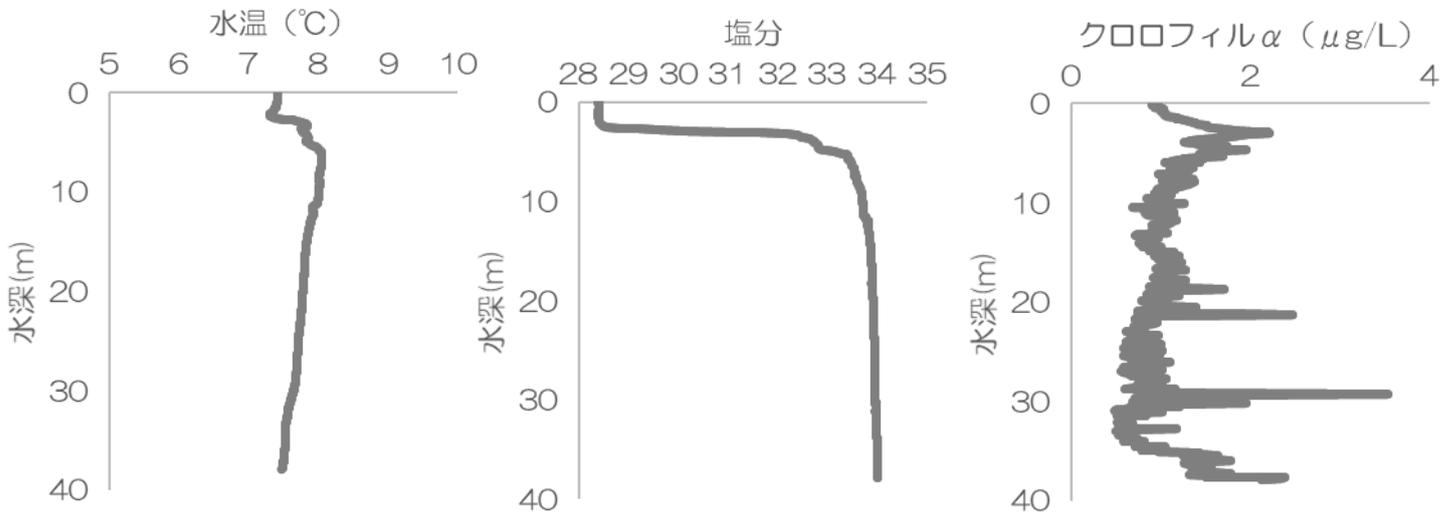


図1：「なか」の水温・塩分・クロロフィルの鉛直分布

◎ヨーロッパザラボヤ付着量調査結果

- 部会の桁に設置した試験籠にザラボヤの付着が確認されました。
- 試験籠の付着数は 29 個体で、各段の付着数は 0~4 個体、平均付着数は 1.5 個でした (図1)。
- 籠の上面に 10 個体、側面に 9 個体、下面に 10 個体が付着しており、付着場所にめだった傾向はありませんでした (図2：計測場所の概念図)。
- 部会の桁に設置しているザラボヤ付着プレートにザラボヤの付着が確認されなかったことから、3月中旬から4月中旬のザラボヤ幼生の付着はなかったものと考えられます。

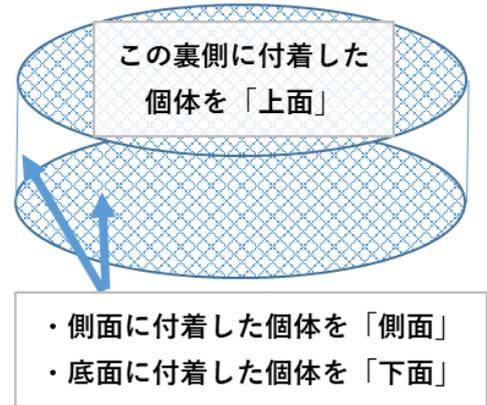
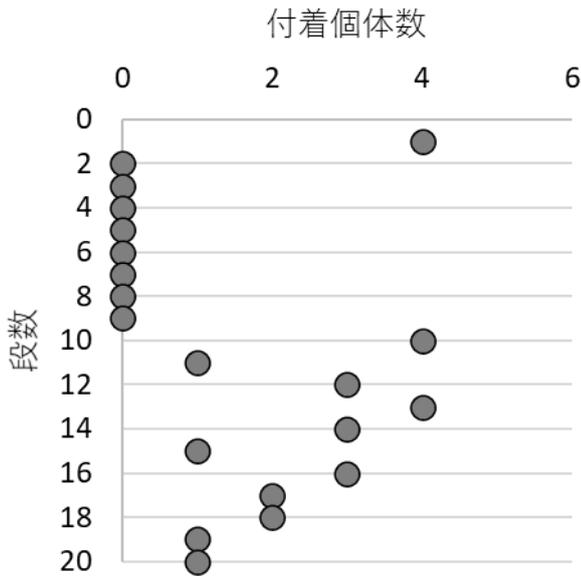


図2：試験籠の各段の計測箇所の概念図。

図1：試験籠におけるヨーロッパザラボヤの付着数と分布。段数は数字が小さいほど水面側を示しています。

◎ヨーロッパザラボヤの体長と付着場所 (図4)

【試験籠の結果】

- 上面：27~90mm の小型~大型の個体が付着していました。
- 側面：32~87mm の小型~大型個体が付着。
- 下面：42~64mm の中型個体が付着していました。

• 試験籠に付着したザラボヤの平均体長は 55.6mm (先月の平均体長：51.6mm) でした。

◎ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します。

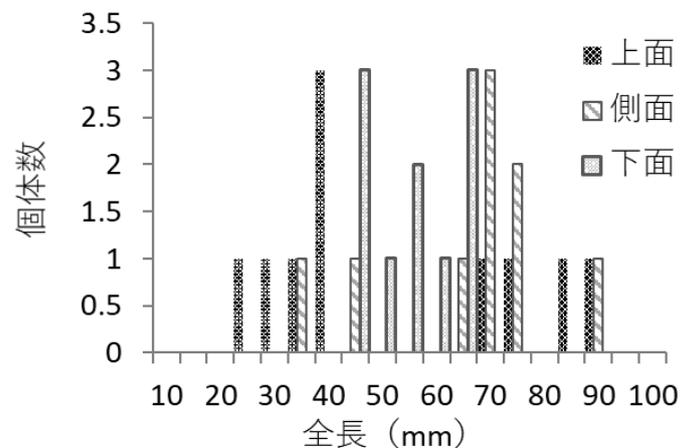


図4：ヨーロッパザラボヤの体長と付着場所の関係。

※調査結果は中央水産試験場 HP から確認できます。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd0000002m9a.html>